ダノンシャークから馬連総流し。
厚目はサトノアラジン、ダイワマッジョーレなど。

　次は、過去のマイルチャンピオンシップ優勝馬の一覧表である。これを見て、なにか気がつかないだろうか？

【マイルチャンピオンシップ・過去の優勝馬（1989年以降）】

1989年　オグリキャップ

1990年　パッシングショット

1991年　ダイタクヘリオス

1992年　ダイタクヘリオス

1993年　シンコウラブリイ

1994年　ノースフライト

1995年　トロットサンダー

1996年　ジェニュイン

1997年　タイキシャトル

1998年　タイキシャトル

1999年　エアジハード

2000年　アグネスデジタル

2001年　ゼンノエルシド

2002年　トウカイポイント

2003年　デュランダル

2004年　デュランダル

2005年　ハットトリック

2006年　ダイワメジャー

2007年　ダイワメジャー

2008年　ブルーメンブラット

2009年　カンパニー

2010年　エーシンフォワード

2011年　エイシンアポロン

2012年　サダムパテック

2013年　トーセンラー

2014年　ダノンシャーク

そう、過去の勝ち馬には「冠馬名」が多いことだ。オグリから始まり、ダイタク、シンコウ、タイキ、アグネス、トウカイ、ダイワ、エーシンなど、冠馬名の宝庫である。さらに、冠馬名の馬は、なんと2連覇していることが多い。ダイタクヘリオス、タイキシャトル、ダイワメジャーと　3頭もいる。

となると、今回は、昨年の覇者ダノンシャークを買うべきなのかもしれない。

過去データは無視と口を酸っぱくして言っているのに、こんな買い方をしてはいけないのだが、このような非論理的なデータなら、今回はまあいいかということにしてみた。

パリの大規模テロ、GDP四半期連続マイナス、侍ジャパン準決勝で韓国に負けと、いいニュースがないので、考える気力がなくなり、勘も働かない。それで、こんな結論になってしまった。いいのかなあ？

というわけで、ダノンシャークから馬連総流し。厚目は、冠馬名決着で、サトノアラジン、ダイワマッジョーレ、トーセンスターダム、ミッキーオリビエの4頭となる。